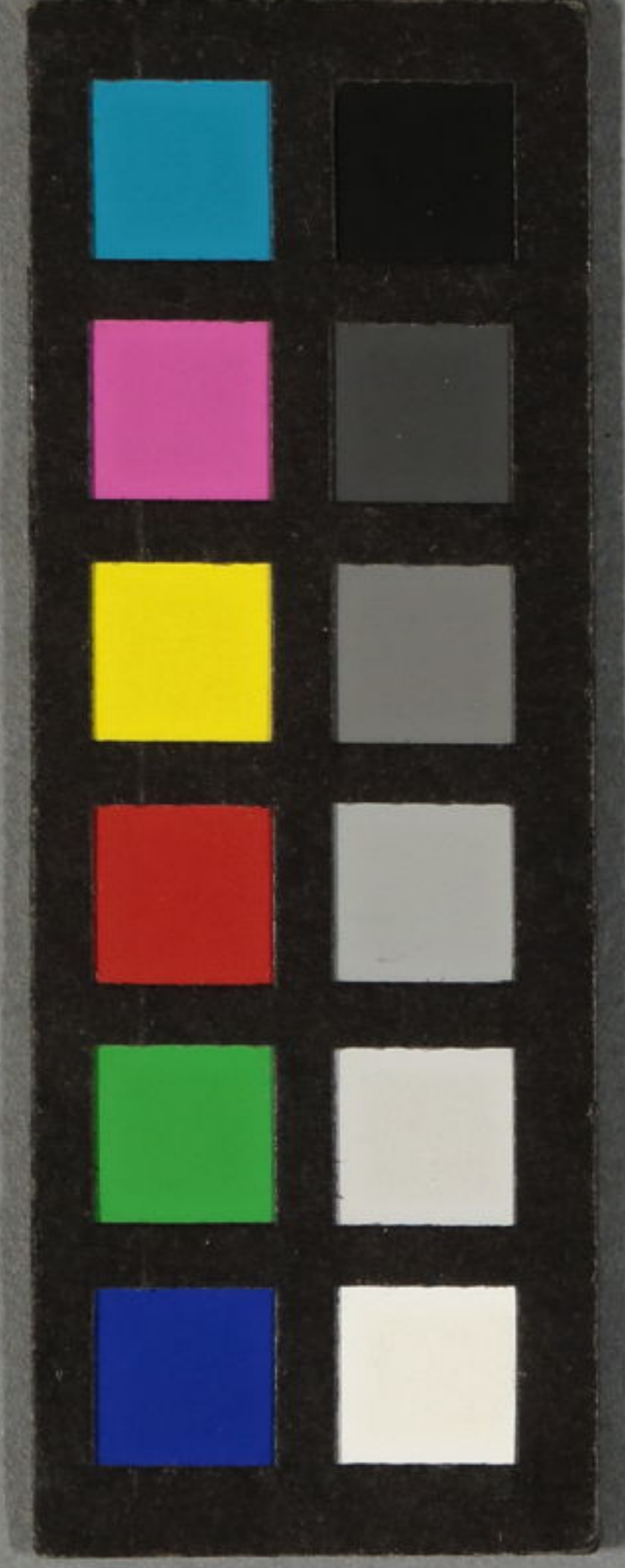




有人云公家衆云此ノ江戸御改正服忌
令ハハナバダ義ニソムクア
當武風ナル先ト

服ハツカテ心ニナリテイルヲ云イ

忌ハカク如クカレリトテ者ニソノレナスヲ云

服房六ノ切音伏ニ
易ニ爲ニ隠伏ス
ツカラ
ユク
カリス
坎ヲナイル

忌子イム
ウラム

渠記切

畏ナリ

徳ナリ

御改正服忌令

一 父母

忌五十日

服十三日

国月を以て

一 養父母

忌三十日

服百五十日

生母お續成り此配當く孝子ハ父母
ニあて同姓少くも異姓少くも此方ノ親
類方ニあてお事小振忌て又ニ家方
親類ハ父母ハ定式ノ振忌ナク

祖父母伯叔父姑ハ生誕ノ報ニテ父ノ兄弟
姉妹ハお年小才城ノ報ニテ父ノ兄弟ノ
親類ハ報ニテ

遠跡相續セズ式分此配面セズ家老子ハ
同姓少クモ異姓ノモ皆父母ハ定式ノ色
報ニテ父ノ妻方ノ兄弟姉妹ハお年小才
城ノ報ニテ父ノ兄弟ノ親類報ニテ

ノ親類ハ定式ノ色お年小報ニテ

一 嫡母 忌十日 服二十日

對面ニテ作ル不テ父報ニテ母ノ作ル
對面ニテ去報ニテ父ノ父兄ニテ母ハ
嫡一或父離別ニテ父ノ父兄ニテ母ハ
父報ニテ母ノ親類ハ服ニテ

一 繼父母 忌十日 服二十日

初、父、母、を、失、は、れ、ハ、子、孫、を、養、ひ、て、終、る、事、を、
 孝、と、云、ふ、也、

離列之母

五十五日

服十三月

閏月七

丈

忘三十日

服十二月

月夜

妻

卷二十

服九十日

嫡子

卷二十日

服九十日

家督と定めしむる時を末子と稱して之を
女子と定むるは生れても末子と唯む

末子

志十日

抄三十日

孝子といへても服忌を犯さず一節骨
と定ふ時を嫡子に承忌可なり

養子

馬十目

服三十日

茲賢之空際時去猶子之能忘一之

一 父之父母 忌三十日 服百日

一 祖父母 忌三十日 服百日

母方 忌二十日 服九十日

一 誰がせしれ祖父母を服するに依

一 母方より服するに依る者 忌二十日 服九十日

一 高祖父母 忌十日 服三十日

母より父を服するに依る者 忌一日

一 伯叔父母 忌二十日 服九十日

母方 忌十日 服二十日

父母を服する兄弟姉妹を承継する者 忌

一 兄弟姉妹 忌二十日 服九十日

お後よりとすも服するに依る者 忌

一 舅父兄弟姉妹 忌十日 服三十日

一 嫡孫 忌十日 服三十日

嫡孫承祖より何れも嫡子に承て受く
祖父母兄弟何れも嫡孫より承て受く
十二月に承て受く時節に親族に承て受く
別々一各孫に承て受く時節に親族に承て受く

一 弟孫 忌三日 服七日

女子ハ家初小生れても弟孫に准む

娘方ハ孫服忌同前

一 弟孫玄孫 忌三日 服七日

娘方ハ弟孫玄孫に小服忌之

一 従父兄弟姉妹 忌三日 服七日

又ハ姉妹の子孫母方も承忌同前

一 甥姪 忌二日 服七日

姉妹之子も終る日あ

一 七歳未満く小児ハ五服迄

父母ハ二日を過さず外ハ親族ハ同姓少くも異
姓少くも一日を過目ぬる事取れぬ返る不及
を急但ハ歳より定式ハ終るまで
附七歳未満く小児ハ亦一ハ終るまで

父母死去し何れも五十日を過さず外ハ親族も一
日を過父母ハ年月をへく承けも支けり
日より五十日を過さず

一 國忌く事

をみよわわく親族年月を擇て若年より
りやも父母ハ支けり日より五十日服十
三月卯親族ハ支けり日より終る日ぬ

可更く是く日数とて一日を過照
めいとも因る

一 室か服忌之事

又く服忌いすこふの肉母く服忌有之者母
く服忌く日ちとみ十日十二日く服忌とて
之よりた服忌く肉母き服忌有く日数
終る出る不及更服忌日数ありハ少く服

忌く日数て更く

一 産穢之事

一 産穢 文七日 婦二十五日

を因より告来七日といふ穢多し七日く肉
承作を穢日数く穢多し人し血意産
同の尤毒く産穢く何をも同例

一 血意 文七日 婦十日

端
十
月

形辨有之者て而爲産形辨有之者て

一
四

家之内少く人死に時一同に居合作を死
保て之を成帝を満作の志様を以て一同
に居合作共より以て志様を以て二階より之

揚江交指く我より有之、非んば穢無き以家
方に不し死人有る可ふ其體有る地は穢
家主を去作せり死穢の民差ふ世と死好
主下に未しと難有るいと端合ふ穢なり

仍水

卷一

子去少去處但求作名進而不改志處所

是刻つゝの就改葬に場は作者の心を
与へたる親類の其陽に於て共ふ心を以
改葬するに作者の心も一日を盡すに
附據起す日と葬に区別有るに者より
ふ所據起す日と葬作日と二日を盡す
他人の心も改葬するに作者の心も
起す翌日より葬作日と二日を盡す

不及事ある改葬の心を以て付
起す日と葬作日と二日を盡す
他人の心も改葬するに作者の心も
起す翌日より葬作日と二日を盡す

追加

一 養父死すに母同族せしむるに
嫁せし母の心を以て他は嫁するふ
ても母の心を以て

一 養父・妻を死せるか否かは死せる若くは嫡母より
唯ぐ・親類縁者忌む

一 妻腹の子嫡母死せるは嫡妻に母と雖も忌む
作ふ・対面・女・其・継母・縁者・父・母・養育
・父・作ふ・妻・母・定式・縁者・父・母・
一 義縁・嫡子・縁者・未子・縁者・父・母・
親類・縁者・作ふ・縁者・父・母・

一 家父・父・母・兄・弟・子・父・母・配・妻・父・母・
一 遠縁・縁者・嫡子・父・母・父・母・父・母・
一 妻・方・父・方・親類・縁者・父・母・父・母・
一 父・母・定式・縁者・父・母・父・母・

一 妻・子・父・母・父・母・父・母・父・母・
一 妻・子・父・母・父・母・父・母・父・母・
一 母・子・父・母・父・母・父・母・父・母・

ハ嫡母継母ニ式ニ服忌ニシテ
女子増氏家ノルモ若シ成入贅主ニ成
相續ク時ニ若方ニ親類ノ方ニシテ
ハ服忌ニシテ増氏ノ付若方ニ成
若方ニ成又母ハ定式ニ服忌ニシテ若方ニ見
升姉妹ハ若方小建職ニ服忌ニシテ
親類ハ服忌ニシテ若方ニ親類ハ定式ニ

若方小可更服忌

- 一 増氏未お調内少くも服忌ナリハ若方夫婦
若方に定式ニシテ目取ノ若方但服忌
又ハ妻服忌ニシテ但父妻ノ准若方時ハ継母
服忌ニシテ若方若方若方父ハ妻も同例
妻ハ服忌ニシテ但子出生少くハ三日を忌
若方若方若方ハ妻若方時を忌

同姓少くも異姓なても一人はあつてつてふたふた
 書きて方へ解ふてふたふた
 名字を授け少くもおとす解ふてふたふた
 方へ解ふてふたふた

[illegible]

子之死去以者名跡お續けたれ新親の家
續お續く時と書受く事と服忌う事と死去
作者七条事満より若振忌之由十日を盡
死去以者親親にお承に定式と振忌て受之
実方と親親父母に定式と振忌て受之祖父
母他親父母に承承て服忌て受之兄弟姉妹

求城之日數之十日八十省也勝八唯之

一日と有る、右高熱に於て時々至りて熱之九

何と云ふか
一日之接是

元禄六年十二月廿日

右河内守坂本宗以
諸社通用神祇服紀令大成
諸社通用神祇服紀令大成
諸社通用神祇服紀令大成

諸社通用神祇服紀令大成

神祇道之神事者一朝之法令也君臣
遵之諸社例之神事者一社之新式也
故其社人守之

○服暇

父母 服一年三月 暇五十日

遠國他境而逝去年月ヲ經造來時聞
付日ヨリ更ニ五旬ヲ始其月ヨリ一廻

十三月著服也此儀二親限也

一 養父母 服百五十日 暇三十日

遺跡相續時本親ノ如ク一廻十三箇月著服

此時本姓二親ノ服不受也但用捨其身所意可任

一 嫡母我母ヨリ前之母繼母我母ヨリ後之母 服廿日暇十日

一 夫 服一年十三箇月 暇三十日

一 妻 服九十日 暇二十日

一 舅甥我夫之父母 服九十日 暇二十日

一 嫡子 服九十日 暇二十日男子第一

女子ハ家初ニ生出ストモ未子ニ准ズ

一 未子 服三十日 暇十日

一 養子 服暇未子ニ准ス但遺跡ト名付イザナ

時ハ嫡子之服暇可受也

一 妾 服無之 暇二十日

一 祖父母 服百五十日 暇三十日

一 伯父父之兄 叔父父之弟 服九十日 暇二十日

一 姑父 姊妹 服暇同前

一 兄弟 姊妹 服九十日 暇二十日

別腹タリト云共服暇差別無之父各別

而同腹兄弟姊妹見于左

一 曾祖父 服九十日 暇二十日

一 高祖父母 服三十日 暇十日

一 嫡孫 服三十日 暇十日 男子之第一也

一 末孫 服七日 暇三日

女子ハ家初ニ生タリト云共末孫ニ准ズ

一 從父兄弟 服七日 暇三日

伯叔父子男女共服暇同前 姑ノ子ハ無服

一 甥姪 服七日 暇三日 但姊妹ノ子ハ無服

一 異父兄弟姊妹 服三十日 暇十日

父各別而同腹之事也

一 繼父 服三十日 暇十日

但同居セス恩惠ヲ蒙ル事ナキ時ハ無服

○母方

一 外祖父母 服九十日 暇二十日

舅姨 服三十日 暇十日 自餘ノ親戚皆無服

一 七歲未満之幼雅ニ親之服ヲ不著上ハ

六屬悉無服也件之小生死去時モ又

六親無服也八歲ヨリハ自他之服有之

○雜穢物忌

一 女房經水 七日憚之八日目ヨリ神事

人同座同居同火不苦本人神社へ參

詣ハ十日十一日目ヨリ不憚也

一懷妊五箇月ヨリ神社ヲ憚ル夫モ當月可憚之

一產穢 三十日也七箇日以後無乙丙展轉之儀八日目ヨリ出入同座同火之人二夜三日居間隔テ太神宮以下諸社參詣不苦者也

一流產穢三箇月テハ經水ニ准ス四五箇

月ニ至テハ既ニ形體決ス全死穢ニ准一死穢 三十日 カヲツハイ 甲キエ丙キエニ轉イム之テ

甲穢トハ死人在所也乙穢甲所ニ通入之在所同往還之人共ニニ轉目ノ穢也丙穢ハ乙所ニ通入ノ人同其人ノ在所共以テ三轉目ノ穢也二轉目ハ二十日三轉目ハ十日也丙穢ト參會ノ人當日計二

夜三日隔テ神社參詣不苦也

一五體不具穢 七日甲乙丙三轉死穢ニ

同シ假令五體不具トハ人ノ頭手足ノ類ヲ

云犬ナドノ人ヲ喰事アリ又頭手足ハ無

シテ身體腹ノ分有之者全體穢也尤

三轉穢アリ身體ハ五臟ヲ具スル故死穢

ト同三十日也

一六畜生死穢 死穢五日產穢三日也

甲乙二轉忌之不及三轉牛馬羊豕犬

雞是ヲ六畜トス鹿獐狐等准之但雞無穢

○食穢 生豆腐 同餅 同麩 同味噌
酒 冷 同塩 已上此類不忌火

一魚鳥太社無憚官寺當日憚之

一 羚羊狼兎狸 五日忌之食了又五日ス

ギテ絜齋而神社參詣スヘシ合火不苦

鹿カ 猿サ 狐キ 猪ブ 犬イ
七十日 合火 五十日

七十日 合火 五十日

又合火三十日

鹿肉藥二交用八三七日

鹿茸 同三七日
鹿角 麒麟血 七日

鹿角シカカク 麒麟キリン 血ケツ 七日

牛馬
百五十日乙七十日丙五十日

右食穢伊勢ニテハ各別左記ス

一五辛

オホビル
大_一蒜
ヒトモジ
茗_一葱
ニラ
薺_一葱
アサキ
蘭_一葱
ユタイ草
大_一根

自序

宮寺天道部三日或廿四時大社只

不可食臭氣甚ナルヲ憚ル

○問答

藤原宣賢不審條々如左

一問^ト瓜^ヅヲ截^{キル}神社憚^ルヤ否^{イチャ} 谷^{コヲ}不憚^ル但^シ血^チ

出スニ抄テハ可憐

一問人ヲ殺害スル其殺手觸穢スルヤ答

キリテ
截手ハ當日ハカリ穢ルスモノハ三十日

一問 糸治ノ穢イカン 答三箇所マデハ不

禪四箇所ニ及バ二十四時忌之

一問隣家ニ人死スル時地ノ穢有ヤ否

答無之別棟ニテ出入ノ間門ナキトキ不

穢又門ナクトモ同棟ノ時ハ一日穢也

一問穢中ニ夢想法樂連歌イカン可憚哉

答不可然云云太社宮寺同ジ

一問焼亡穢有哉否 答一七日穢也但

乙丙ノ忌無之又棟落ザレハ三日三夜也

一問河流死人門前ニトミル穢有哉 答

無穢突流人二十日憚之

一問河流死人有ヲ知テ渡ル穢有哉否

答其下ヲ渡人ハ當日憚之其上ヲ渡

人七日ノ穢也死人ノ跡ヲ踏故也

一問産穢服紀令之如ク七箇日ノ間八甲乙

丙三轉穢アリ七日ノ内ニ丙穢人ニ參會
之人其穢アリヤ 答丙穢參會人ヲハ丁
穢トモ云ベケレ共丁穢ト名目ヲ出ス事ナ
シ只參會ノ當日バカリ穢ス翌日ヨリハ
不_レ汚甲乙ニ交_レハ七日ノ内ハ產穢ト同
ク可_レ汚七日以後三十日ノ間ハ甲ニ交_レハ
二夜三日居隔_テ參社スベシ七日以後ハ

乙丙ノ汚ナシ

一問胞衣_ヲ納_メ者汚有哉 答七日忌之又
エナヲ洗_フ者七十日也並ニアラ血カル者ハ
三十日也

一問父母ノ重_ミ服_ヲ他國ヨリ告_グ來_キレハタトヒ五
年十年後タリトモ聞_クル日ヨリ始_メテ期_キ
年ノ服_ヲ受_ル事服紀令ニ見タリ期年ハ

ムカハリ月ナリ今年ノ死月ヨリ明年ノ死
月マテヲ云死日ハ上旬ニテモアレ中旬ニテ
モアレ其一月ハ忌也（イミ）喻ハ今年二月死月
ナラハ明年ノ二月中ハ忌也如此哉否也
答然也 又問或說二重服ハ五十日内
ニ告來（ツゲ）バ其聞日ヨリ相繼テ五十日ニ
滿ル日マデ忌之ト云喻バ死日ヨリ三十日

日四十日目ニ告來（ツゲ）バ其殘ル日數ヲ十
日モ二十日モ忌ト云如何 答甚誤也
聞付ル日ヨリ五旬ヲ始ル事是重服ニ限
事也輕服ノ時ハ服ノ内ニ告來（ツゲ）バ忌繼也
又重服ノ内ニ輕服告來（ツゲ）バ重服ノ内ノ日
借繼（カリツグ）ベシ又輕服ノ内重服告來（ツゲ）バ輕服ノ
日數（カズ）滿ルニ及ズ重服始テ忌之也

一問大社參詣ノ時魚食不憚事勿論下向三
宮寺ヲ可憚矣 答不憚大社ニ感ゼレ
故也惣テ宮寺ヲ前ニシ大社ヲ後ニスル非
一問父母ノ命日社參可憚矣 答不憚但
父母死月ノ忌日ハ當日垢離次第スルベシ
一問疾ヲ問時不本腹ト答フ則喪也忌有
哉 答當日憚之其身喪家へ入レハ死穢

混ズル故ニ三轉汚也喪ヲ問バカリ居ル
時ハ大社共ニ當日憚之
一問喪禮場ニ出人如何 答イロヲ著送ス
役人又火屋ニ入人三十日汚也只葬禮場
ニ出ル人一夜三日又葬ヲマタメ興ニ手ヲ
サユル時三十日忌也親類ハ各別定式ノ服
忌ヲ以テ分ツ

一問手^テ履タル其身^ニケカルヤ 答^キ血^チ膿^ノノ間ハ
神事ニ憚ル同^ト吊^リ人當日憚ル但^レ疵^キノ淺深
ニヨルベレ且^カ恥^ハアツカフ人本人ニ對ス
一問首^カヲ截^キ刀^タ穢^キ哉 答三十日穢ル截^キ手^テハ
右ニ記ス繩^ヲヒ方^ニ元^モ者^モ首^ノ落^ツサル前ニ放^ケセバ
不^レ汚^キオソク放^ケバ三十日也又^キ警^イ固^クスル輩^ノ死
人ニ不^レ觸^ルハ當日穢也但^レ家内ナレバ三十日也

一問疫^ヤ病^{ビョウ}楊^{ヤウ}梅^{メイ}瘡^{サウ}痘^{トウ}瘡^{サウ}汚^キ有^キ哉 答大社
十日宮寺三日忌之二轉ニ及バス
一問墓^モ所^{シヨ}參^{サン}詣^ギ穢^キ有^キ哉 答當日憚^レ之^ニ大
社ハ一日也但^レ其^ノ地^ノ鎮^{チン}社^{シャ}拜^イスレハ不^レ汚
一問神事ニ法事憚^レ有^キ哉 答當日可^レ憚
祈^イ禱^{ダウ}タリト共可^レ忌^メ之^ニ但^レ宮寺ハ各別
一問僧^{ソウ}尼^ニ服^{フク}暇^カ沙汰^{サタ}如何^ニ 答二親^ニ重^シ服

俗家二不替其外ノ傍親無憚但灌頂
修法祈禱ノ時ハ忌憚共ニ俗家ニ同シ
一問穢所ヨリ來書狀可憚矣 答封目
ナクハ無汚門外ニテ先ノ使者ニ封ヲキ
セテ奏者請取ルニ於テハ不汚文管ニ
入タル時ハ管ヲ奏者請取レハ汚ル穢
穢所ト器物取カハスニ於テハ可汚

一問鹿食合火如何 答甲穢鹿食人ト
乙穢合火ハ五十日穢也合火ノ人ニ又
合火ハ三十日也三轉憚也合火セズトモ
鹿食人ト同家セハ社參五日隔ヘレ六畜
ノ死穢五日也合火ノ者ニ同家五日ノ憚
其者ニ合火憚ナレ但六畜死穢五日ノ内
甲乙ノ憚アリ若相混ズルニ於テハ五日也

一問輕服暇中ノ人別火也其別火ノ人ニ合
火如何 答當日ノ憚也重服又同前
但死穢ニ混^シゼバ三十日鹿食ノ合火ハ三
轉忌之又輕重共ニ服人ト參會神事ニ憚
一問太社神事ニ僧居參詣如何 答頭ヲ塞
臍服ヲ着^キセバ不苦但伊勢ハ外也

一問神事時家中食物他所へ持行服者ニ

食^シル如何 答服者食タル後火ヲ打替テ
可^レ調不憚又服者ニ合火スル者出入當日
憚也穢ニ混^シゼバ二夜三日憚リ也尤太社ノ
神夏ナリ
一問穢ニ混^セザル輕服別火ノ人他家へ移リ
テ其家へ召^メ仕^シ出入如何 答不然又別
火ノ人ニ他家ニテ參會ノ合火セバ二夜三日
隔^テベシ重服尚然リ 已上神事

一問神書講尺之時火ヲ改ムヤ否 答尤
可改也講師ハ勿論發起人神事並ニ
六根清淨ノ穢スベシ付經水不淨ノ女
出席同座ヲ不許一切革ノ類可忌之但モル
イデイヤ等至テ古キハ不憚
一問十月ヲ神無月トテ出雲大社ニ日本大
小神祇降臨座ニスト云傳タリ然ラハ參詣
無益忌憚モ可輕哉否 答不然俗説

也神無月ト稱スル事 伊弉冉尊ハ陰神
而十月跡隱御座月也委細ハ神秘タルニ
ヨシテ此略ス舊事紀ニ見ヘタリ大社ニ集
給フ事何レノ記録ニモ見ヘス尤參社神
事必シモイルカセニ致ス事無ラマク而已
一問神事ニ膠ヲトキタル火可忌事ハ勿論平生
トテモ混スマシキ事也合火ハ如何 答三轉

神祇

ノ穢アリニ夜三日懺之

一問服中除目申文ヲ進事文明十三年
 二十九日除目勸修寺大納言教秀卿重
 服中進申文重服人或執筆ヲ勸伴
 官ノ例アリト云リ明應二年二月廿一日ノ
 家記ニ見ユ此義如何 答如此事ハ房中
 法曹之軍勘進ヲ以本トスル也然上六地

下ノ沙汰ニ及ブベカラズ

一問諒闇中申神位事ハ如何 答諒闇中
 被立諸社祭 勸使之上何子細アルキヤ
 兼俱卿書翰アリト見長享二十二月廿
 五家記並實母養母兩度著服事延徳三
 正月十一日ノ家記ニ見ヘタリ
 一毎日日所作ニ定タル勸行ニ淨不淨ヲ不

神記

十六

撰^ミ滌^ス事^ハ早^サ朝^{チウ}行^{ハク}水^{スイ}シテ行^{ハク}之^ヲ

一 毎月定タル別業ニハ前日^ニ姪事ヲ止メ

早朝^{サチウ}行^{ハク}水ヲスベシ

一 穢中ニ太神宮以下諸神へ清淨ノ人

代參^{ダイサン}サセシムル事更ニ不憚奉納同前

一 日輪^{ニチリン}毎日御拜ノ事或ハ御階或ハ庭上ニ

於テ御所念尊^{ミヨソノモリノミヤ}号ノ事今度御心念分

尤可然候直ニ向ヒ御申ノ儀不可^カ苦候

其故ハ下界ニ御座候御神ハ境地ヲ定

座スノ故ニ淨穢ノ隔ヲ專ニ御忌候天上

神光ハ三千世界ヲ御照シ候ニ清淨モ汚

穢モ隔ナキ神慮ノ御内證ニヨリテ穢ノ

時モ直ニ向ヒ御申不苦候云云吉田二品

法住寺殿へ御返事如此

一有穢氣之時日所作ノ事觸穢三十箇
日之間ハ神名等ノ御日所作ヲ被略
テ心中ニ信仰ノ神名ヲ含テ申臣被
三種ノ大疑御受用何ノ子細サラハ
哉是ヲ心中祈念ト申テ不苦候

○諸神參詣之事

一前齋 二夜三日也タトハ參詣ノ定日

明後日ト云今タヨリ潔齋ニ入ベシ

一自前齋日重服人月水不淨ノ女等ハ家
内ヲ可退出也但家室並ニ親服又七
歲未滿家主子乳人等棟別屋落庇ニ
居シテ別火シテ古來ヨリ寛宥ノ法ナリ
一前齋之夕行水二夜三日之間可止滯事
也當日朝行水夜ノ服著ノ後御被以御

秘身體ヲ拂儀也一切革類忌諸社

○伊勢參宮熊野參詣之事

一精進之屋へ入ル日ヲ前齋ノ始トス進發ノ日參詣之當日ニ准ズ

○諸社社例雜忌之事

一石清水參詣之人細橋ヲ渡ルヘカラス當日之穢也又依行教勸請之由縁而參詣

魚肉葷菜ヲ食スル事ヲ忌別而鳥類ヲ禁ズル故七日憚之

一上加茂社參之人境内ニ臨テ宮川畔ニ於テ蘭笠ヲ脱ベシ若精進ノ縣主服者之恣ニ見アヤミバ神事ニ妨アリ一葦表ヨリ内革皮類ヲ忌ニ鳥居ヨリ内歌唱シ雪踏ヲハク事深憚之僧尼ハ柵尾社ノ下石

壇ニテ拜スベシ下加茂已上ノ制法也

一 愛宕山參詣産穢具ニ可憚當社ニ附忌憚深キ子細有_ル事也

初産

男子五十日
女子七十日

第二子

男子三十日
女子五十日

第三

男子二十日
女子三十日

已上合火跡合ニ轉

三轉右問答大社ニ比ス當山社參社日

魚鳥五辛

前之類忌之慶俊遷座之儀也

天文年中定式也

一 洛北天満宮社參大社之例ニ准ズ南門

表華之左ニ石塔アリ世俗服忌之終リ

拜之小石ヲ集テ塔ヲ造事アリ不可觸

之然バ左右ニ居スル茶店常穢ノ火ナラ

ンカ可憚同舟宮南ニ石塔アリ舊記定

ナラズ可憚矣

神紀

○大社 服忌守本式

伊勢 如茂 松尾 平野 稻荷

春日 住吉 吉田 梅宮 大原野

○官社 服忌有差別守魚鳥五辛

八幡 日吉 祇園 北野 今宮

御靈 余略之准此

○二十二社

太神宮勢州 石清水山州 加茂上同 松尾同上

平野同上 春日和州 稻荷山州 大原同上

大神和州 石上同上 大倭同上 廣瀬同上

龍田和州 住吉和州 日吉五州 梅宮山州

吉田山州 廣田和州 祇園山州 北野同上

丹生和州 貴布祢山州 已上 藤原宣賢

右此服忌令者以吉田二品兼俱卿自筆本寫之

神紀

三十一

○伊勢大神宮服紀令

一父母 忌五十日 服十三月 閏月ハ外也

死月他所ヨリ告來ルニ聞付ル日ヨリ
更ニ十三月也如本式

一養父母 忌三十日 服百五十日

父方之祖父母同上

一父方曾祖父母兄弟 忌二十日 服九十日

一父方ノ伯父叔母並嫡子等忌服同前

一夫 服忌父母ニ准ズ但忌ハ三十日也

始ノ一人ニカギラス後々ノ夫ニモ始ノ如シ

離別シテハ不忌但婚禮セザル前不忌

一女房 忌二十日 服九十日但初ノ女房一

人ガリ也後々ハ不忌

一女ハ嬪姑ノ忌二十日 服九十日也

一母方ノ叔父姨ヲヂ養子ヨシ末子スエ嫡孫チキ

繼父母 忌十日 服三十日

但繼父母ニカハラザル子ハ忌服不憚

一腹ノ兄弟 忌十日 服三十日

腹ガハリノ兄弟モ父子ハラ一ツ兄弟ト同前也

其外甥ノ服忌モ父子ハラ一ツノ兄弟伯父ヲヂ甥ヲイ

ノ服忌同前也腹一ツニラ父子異ハ服忌ヲイ

一親類他所ニテ死タルヲ忌服ノ日數カズス

ギテ告ツケ來ラバ忌服半分ノ穢也又トハ

三十日ノ人ハ十五日七日ハ四日也又三十

日ノ忌十五日以前二聞キコタラバ日カズヲカゾヘ

ツギテ三十日可憚コトナシ之ヲ

一懷妊クワイニシノ女五箇月以後可憚コトナシ夫ハ不苦ヲツト

一月經キツ十日スギテ不苦コトナシキハ參官不苦

一 炙シタル人三十日但三火ニテハ不苦
一 死人二觸又ハ人ノ首斷截スル人三十日也
一 葬送ノ供スルハ七日也甲乙ニ不及
一 棺ヲ荷ヒ松明 灯笼等役人五十日
一 産スル人百日付生子已上
一 鹿猪犬牛馬 熊 麋等各百日也
同火二十日又同火七日又同火當日又

本人九十八九日ノ比ニ至リテ同火スル者
二十一日忌アリ本人食スル日以前三日ノ
内同火ヲ逆次ノ忌トモ返火トモ云此鹿
ノ三ニカギル也二十日也一切革類可憚之
一 三十日ヨリ内ノ産婦ノ同火中三日
一 三十日已後ノ産婦ノ同火中二日
一 男女共ニ房事中三日

一伊勢講參宮人寄集ル事當日可慎也

親ノ忌三日 親類ノ忌二夜 同服アル人

一夜出入スル事ナカレ

一參宮スル人其人ノ年ノ數ニヨリ參宮セ

サル年アル由雜書ノ說アリ聊不可信用ス

神宮舊記格式二曾不見之也

以上敬齋

右服紀令者大槩如此頗有舊例神宮

嚴密之法令少時略之矣遠國他鄉之

參宮同者道路店屋驛亭淨座忌火事

聊告宮司主人而無穢言則寄寓而然

且以告之後不知而觸穢則此制之外

也豈罰之哉

某在判

天和元辛酉歲仲冬吉辰日

御改正服忌令者近世下テ命爲令カ庶民
見易ヤク以州書假名文字ヲ行于世ニ繁然而傳
萬世之戶戶ニ以盈ミ今ニ粵別有神祇服紀
令而舊版頗多シ蓋非魚魯刀刀之誤而已或
除言要或加私說ヲ予舊刻亦然リ不可有無改
懼矣今幸求珍書以新ニ鋟ニ梓而已

元祿八乙亥孟陽吉辰日 書林梅邨彌日子壽梓

納本三卷之上服

文三子